

1 この科目の構成について

教 科	英語	科 目	英語表現Ⅱ	単 位	2単位
対象コース	カレッジコース	対象クラス	3年2・3組		
使用教科書	Vision Quest English ExpressionⅡ（啓林館）				
使用副教材	キクタン【Basic】教科書準拠ワークブック、教科書準拠総合英語 Vision Quest				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、論理的にかつ表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。①英語表現Ⅰで学んだ学習事項を元に、新たな表現を習得する②センテンスライティングだけでなく、文の構成を理解しパラグラフライティングを意識する。③お互いに書いた文章を読み、相手の表現したいことをくみ取るのももちろん、相手の使った表現を自分でも使えるようにする。④積み残した話法や否定表現などに触れて表現の幅を広げる。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
表現するというのは紙ベースのものだけでなく、オーラルベースのものや、ジェスチャーによるものもある。様々なものを用いて表現する態度を養成する。各レッスンは Story を題材にしたリスニングタスクやリーディング、Study point や Expression を題材にした Reproduction などを通して4技能全般に刺激を与える。また知識習得にとどまらず、GOAL を用いたまとまった英作文を生徒同士で読み合ったり、添削をするなどの活動を通して、表現する技術を高めていく。	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校 コミュニケーション英語に比べて、発信側に回ることの多いこの科目は授業への積極的な参加が求められます。各レッスンで渡されるハンドアウトを元に自身の4技能を錬成をする。 (2) 家庭 毎時宿題が出されるわけではないこの科目では文法や表現の自身での習熟が大切なものになる。宿題となるのは exercises や Workbook、GOAL など。各レッスンの最後の方に集中する。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何を使って評価するのか—
評価の観点とは「定期考査」「課題提出状況」「授業への参加」「小テストの成績」の4つの合算で評価する。定期考査は期間内の学習内容についての理解度を見る（6割）。課題提出状況では日々の課題への取り組みの内容を見る（2割）。小テストは週1回のキクタンテストの平均点が反映される（1割）。また授業への参加は出席率はもちろん、授業に取り組む姿勢、情報を理解し、英語で伝える姿勢を評価する（1割）。	
評価における定期考査の割合	
60%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度 間違いを恐れず、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 (2) 思考・判断 与えられた状況において、適切に話し伝えることができる。また相手が言ったことを正しく聞き取ることができる。 (3) 技能・表現 学んだ文法や表現を使い、与えられた課題について文章を書くことができる。 (4) 知識・理解 それぞれの Lesson で確認した文法や表現を理解し、知識として定着している。	

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目		学 習 の 内 容		関	思	技	知		
1	4	Lesson 18 犬派？猫派？ 原級／比較級 [Active Learning を実践します]		「犬派？猫派？」（ペット）比較を表す① 原級と比較級を使った比較表現と英作文		●		●			
	5	Lesson 19 最上級／最上級の意味を表す表現 [Active Learning を実践します]		「思い出深いプレゼント」（思い出、プレゼント）比較を表す② 最上級の用法。原級や比較級を使って最上級の意味を表す表現と英作文		●			●		
		Lesson 20 no＋名詞、no-で始まる代名詞／部分否定／準否定 [Active Learning を実践します] 【第1回考査】		[道徳教育を行います] 「インターネットの問題点」（インターネット）否定を表すさまざまな否定表現と英作文		●		●			
	6	Part 2 Lesson 1 パラグラフの構成：列挙・順序 [Active Learning を実践します] 実践文法問題対策① 【第2回考査】		「ロボットの有用性」列挙／つなぎの言葉 First, Second, Third / To begin with, After that 実践文法問題対策：不定詞			●		●		
	7	Lesson 2 パラグラフの構成：例示・追加 実践文法問題対策②		「英語を学ぶ意義」例示・追加／つなぎの言葉 For example, In addition, Moreover / For instance, Furthermore, such as, Also, as well 実践文法問題対策：動名詞			●	●			
		Lesson 3 パラグラフの構成：比較・対照 [Active Learning を実践します] 実践文法問題対策③		「都会と田舎」比較／対照／つなぎの言葉 A in contrast B, A on the other hand B, A while B / In contrast to, By contrast, compared to, Meanwhile, Unlike 実践文法問題対策：分詞			●		●		
	2	8	Lesson 4 原因・理由・結果 実践文法問題対策④		「深刻な黄砂問題」原因・理由・結果／つなぎの言葉 One of the causes is, due to, As a result, Because of this, / Since, This is because, so, thus, consequently, Accordingly 実践文法問題対策：関係詞			●	●		
9		Lesson 5 要点・要約 実践文法問題対策⑤ 【第3回考査】		「ベジタリアン」要点・要約／つなぎの言葉 In other words, namely, In a word, To sum up, To conclude 実践文法問題対策：時制			●		●		
10		実践文法問題対策⑥ 実践文法問題対策⑦		実践文法問題対策：比較 実践文法問題対策：仮定法				●	●		
11		実践文法問題対策⑧ 実践文法問題対策⑨ 11 月中旬より順次入試問題演習を行う 実践文法問題対策⑩ 【第4回考査】		実践文法問題対策：助動詞 実践文法問題対策：イディオム 実践文法問題対策：発音、アクセント				●	●		
								●	●		
12				今考査はセンター試験の2ヶ月前ということでセンター試験の内容を意識した問題を作題する。ただし範囲設定は比較等の重要な文法事項があるため、重点的に問題を配置する。今回はライティングの問題を課さず、センター第3問形式のパラグラフに関する問題を作題する。							
3		1	センター試験直前対策及び二次試験対策		過去問及び予想問題の徹底研究				●	●	

